

フランス文学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 semester	開講曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
フランス文学概論Ⅰ	「フランス文学」を通じて何を学ぶのか: その展望および文学史(17世紀まで)	2	黒岩 卓	3	前期火曜日2講時	
フランス文学概論Ⅱ	フランス文学史(近現代)	2	今井 勉	4	後期水曜日4講時	
フランス語学概論Ⅰ	言語学の誕生から今日まで	2	阿部 宏	4	後期月曜日5講時	
フランス文学基礎講読Ⅰ	フランス語の文章を読む	2	今井 勉	3	前期水曜日4講時	
フランス文学基礎講読Ⅱ	フランス語文法	2	黒岩 卓	4	後期月曜日4講時	
フランス語学基礎講読	フランスの雑誌を読む	2	阿部 宏	3	前期月曜日5講時	
フランス文学各論Ⅰ	フランス文学批評史(1)	2	今井 勉	5	前期木曜日2講時	
フランス文学各論Ⅱ	フランス文学批評史(2)	2	今井 勉	6	後期木曜日2講時	
フランス文学各論Ⅲ	モニュメントと文学(者)の記憶	2	竹内 修一	集中	集中講義	
フランス文学演習Ⅰ	Lire, comprendre, interpréter	2	MEVEL YANN ERIC	5	前期木曜日4講時	
フランス文学演習Ⅱ	Lire, comprendre, interpréter	2	MEVEL YANN ERIC	6	後期木曜日4講時	
フランス文学演習Ⅲ	フランス語の歴史と諸相(1)	2	黒岩 卓	5	前期火曜日1講時	
フランス文学演習Ⅳ	フランス語の歴史と諸相(2)	2	黒岩 卓	6	後期火曜日1講時	
フランス語学演習Ⅰ	フランス語意味論Ⅰ	2	阿部 宏	5	前期火曜日5講時	
フランス語学演習Ⅱ	フランス語意味論Ⅱ	2	阿部 宏	6	後期火曜日5講時	

科目名：フランス文学概論 I / French Literature (General Lecture) I

曜日・講時：前期 火曜日 2 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB32203, 科目ナンバリング：LHM-LIT208J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：「フランス文学」を通じて何を学ぶのか：その展望および文学史（17 世紀まで）
2. Course Title (授業題目)：French Literature: history and perspectives
3. 授業の目的と概要：1) 今日の日本にあって、「フランス文学」という学問領域を通して何を学ぶことができるのかを考える。
2) 古代から近世にかけてフランス語やフランス語による文学が成立してきた過程の概要をつかむ。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：We learn about：
1) the meaning of French Literature in today's Japan
2) the history of French and French Literature until the 17th century.
5. 学修の到達目標：一人一人がこれからの日本におけるフランス語・フランス文学のありかたを考えられるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner thinks about French and French Literature.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
第 1 回 オリエンテーション / フランス文学と日本
第 2 回 ラテン語からフランス語へ / ウェルギリウス『アエネーイス』 / 英雄像の変遷
第 3 回 『ローランの歌』 / 中世における口承と文書 / フランス文学の翻訳
第 4 回 「ロマン (物語)」の発生 / 『アーサー王の死』 / 結婚とその他
第 5 回 中世文学の担い手たち / 『ジャンヌ・ダルク処刑裁判』 / 牢獄
第 6 回 中世・ルネサンスにおける詩と音楽 / フランソワ・ヴィヨン / 自己
第 7 回 16 世紀概観 / ラブレール『ガルガンチュア物語』 / 日本におけるフランス文学の翻訳
第 8 回 カルヴァン『キリスト教綱要』 / 対抗宗教改革 / 神の探求
第 9 回 日本におけるキリスト教の伝播 / モンテーニュ『エッセー』 / ラテン語とフランス語
第 10 回 17 世紀概観 / 近代フランス語の成立 / デカルトとパスカル
第 11 回 古典主義の美学 / コルネイユ / ジャーナリズムの誕生
第 12 回 フランスの世界進出 / モリエール / オペラ・バレエ
第 13 回 ラシーヌ / 演劇
第 14 回 ラ・フォンテーヌ / フランス語の形成と辞書の歴史
第 15 回 18 世紀概観 / ルソー / 文学は「役に立つ」のか
8. 成績評価方法：
出席 (70%) および期末レポート (30%)
9. 教科書および参考書：
永井敦子・畠山達・黒岩卓編著『フランス文学の楽しみかた ウェルギリウスからル・クレジオまで』、ミネルヴァ書房、2021 年。
10. 授業時間外学習：毎回の授業後、感想をフィードバックしていただきます。また期末レポートの作成に向け、各自が準備をすることが求められます。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス文学概論Ⅱ／ French Literature (General Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB43401, 科目ナンバリング：LHM-LIT209J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス文学史（近現代）

2. Course Title (授業題目)：History of French modern literature

3. 授業の目的と概要：この授業では、18 世紀から現代までのフランス文学史を概観し、毎回、重要な作品を選んで、テキスト読解を試みます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to have a concrete perspective of French literature from the 18th century to the present day.

5. 学修の到達目標：フランス文学史を通覧しながら、フランス文学の傑作に触れる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a historical perspective of French literature.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)

- 第1回 導入 授業の進め方・評価の方法・総論 10月5日
第2回 18世紀のフランス文学(1) 10月12日
第3回 18世紀のフランス文学(2) 10月19日
第4回 18世紀のフランス文学(3) 10月26日 +コメント 400字課題①
第5回 19世紀のフランス文学(1) 11月2日
第6回 19世紀のフランス文学(2) 11月9日
第7回 19世紀のフランス文学(3) 11月16日 +コメント 400字課題②
第8回 19世紀のフランス文学(4) 11月30日
第9回 19世紀のフランス文学(5) 12月7日
第10回 20世紀のフランス文学(1) 12月14日 +コメント 400字課題③
第11回 20世紀のフランス文学(2) 12月21日
第12回 20世紀のフランス文学(3) 1月4日
第13回 20世紀のフランス文学(4) 1月11日 +コメント 400字課題④
第14回 20世紀のフランス文学(5) 1月18日
第15回 まとめと補足 2月1日

8. 成績評価方法：

400字コメント4回分で40% +2000字レポートで60%

9. 教科書および参考書：

プリント(またはPDF資料)を配付します。

10. 授業時間外学習：毎回、次回の授業で扱う資料を配付しますので、あらかじめよく読んで、授業に臨んでください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：フランス語学概論 I / French Linguistics (General Lecture) I

曜日・講時：後期 月曜日 5 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：阿部 宏

コード：LB41501, 科目ナンバリング：LHM-LIT210J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：言語学の誕生から今日まで

2. Course Title (授業題目) : De la naissance de la linguistique jusqu'à aujourd'hui

3. 授業の目的と概要：・言語研究の歴史について，フランス語のテキストにもとづいて解説する。

- ・言語研究の最近の成果を概説する。
- ・フランス語の中級文法を学ぶ。
- ・フランス語の論文の読解に慣れる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : * En se penchant sur des textes en français, on comprendra l'histoire de la linguistique française.

* On découvrira les résultats récents de la recherche linguistique.

* On apprendra la grammaire intermédiaire en français.

* On s'entraînera à lire des articles français.

5. 学修の到達目標：・フランス語学の基礎知識が身につく。

- ・フランス語の中級文法をマスターできる。
- ・フランス語の論文が読めるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : * On apprendra les connaissances de base de la linguistique française.

* On maîtrisera la grammaire intermédiaire en français.

* On s'entraînera à lire des articles français.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 比較文法 (1)
3. 比較文法 (2)
4. ソシユール (1)
5. ソシユール (2)
6. 音韻論 (1)
7. 構造主義 (2)
8. アメリカ構造主義
9. 生成変形文法
10. 認知意味論
11. 文法化 (1)
12. 文法化 (2)
13. 主観性 (1)
14. 主観性 (2)
15. まとめと筆記試験

8. 成績評価方法：

平常点 50%，筆記試験 50%

9. 教科書および参考書：

プリント使用。

参考書：阿部宏 (2015) 『言葉に心の声を聞く』東北大学出版会。

他にも，関連図書を適宜推薦します。

10. 授業時間外学習：教室で適宜テーマを与えますので，関連資料を調査し，各自考えていただきます

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：フランス文学基礎講読Ⅰ / French Literature (Introductory Reading)Ⅰ

曜日・講時：前期 水曜日 4講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB33405, 科目ナンバリング：LHM-LIT223J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語の文章を読む
2. Course Title (授業題目)：Reading of French literature
3. 授業の目的と概要：この授業では、フランス語の基礎文法を確認しながら、フランス語で書かれた文学的な文章を読みます。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to develop the abilities necessary in reading of French literature.
5. 学修の到達目標：フランス語で書かれた文学的な文章の読解技術について実践的な見通しを持つことができるようになる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a practical perspective of understanding of French literature.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
第1回 導入
第2回 名文撰 (1)
第3回 名文撰 (2)
第4回 名文撰 (3)
第5回 名文撰 (4)
第6回 名文撰 (5)
第7回 名文撰 (6)
第8回 名文撰 (7)
第9回 名文撰 (8)
第10回 名文撰 (9)
第11回 名文撰 (10)
第12回 名文撰 (11)
第13回 名文撰 (12)
第14回 名文撰 (13)
第15回 まとめと筆記試験
8. 成績評価方法：
授業参加状況60% + 筆記試験40%。
9. 教科書および参考書：
プリントを配付します。
10. 授業時間外学習：毎回、十分な準備をして臨むこと。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス文学基礎講読Ⅱ／ French Literature (Introductory Reading)Ⅱ

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB41404, 科目ナンバリング：LHM-LIT224J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語文法
2. Course Title (授業題目)：French Grammar
3. 授業の目的と概要：主要な参考書として六鹿豊『これならわかるフランス語文法』（予定）を用いて、初級文法の復習と中・上級文法への導入を行います。また進度によってはさまざまな種類のフランス語のテキストを読みます。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Using the manual mentioned below, each learner revises the basic French grammar and enters into the advanced French grammar.
5. 学修の到達目標：近現代までのフランス語の読解に必要な文法的知識を深める。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner obtains enough knowledge to read French texts correctly.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
以下の予定で『これならわかるフランス語文法』（以下教科書の項を参照）を読みます。実際には進度には変更があり得ます。可能であれば平行してさまざまなテキストの講読を行うことも検討します。

第一回	オリエンテーション
第二回	pp. 10-41
第三回	pp. 42-77
第四回	pp. 78-97
第五回	pp. 97-124
第六回	pp. 125-152
第七回	pp. 152-189
第八回	pp. 190-226
第九回	pp. 226-260
第十回	pp. 260-298
第十一回	pp. 299-332
第十二回	pp. 333-367
第十三回	pp. 367-401
第十四回	pp. 402-435
第十五回	pp. 436-457

8. 成績評価方法：
出席（100%：毎回小テストを実施します）。
9. 教科書および参考書：
六鹿豊『これならわかるフランス語文法』、NHK 出版、2016。
10. 授業時間外学習：初回を除いて、原則として毎回授業で扱う箇所を読んで来るが必要になります。また毎回小テストを実施します。従って、十分な予習と復習が必要になります。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス語学基礎講読／ French Linguistics (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 月曜日 5 講時

semester：3 単位数：2

担当教員：阿部 宏

コード：LB31504, 科目ナンバリング：LHM-LIT225J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランスの雑誌を読む

2. Course Title (授業題目) : Lire des magazines français

3. 授業の目的と概要： フランス語で書かれた平易な雑誌記事やガイドブックを題材に、初級文法・基礎的語彙の復習、中級文法の学習、文章読解の練習を行います。また、発音のわかりづらい点（発音記号の理解、語末音の発音の有無、複母音字、鼻母音、リエゾンなど）、文法のわかりづらい点（部分冠詞、名詞の性、中性代名詞、複合過去と半過去との違い、単純過去、条件法、接続法など）、フランスと英語や日本語との違い、フランス語の語源とフランス語史などについて解説します。仏々辞典、仏英辞典、文法事典、類義語辞典などの有効な活用法についても紹介します。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : À l'aide de magazines et de guides simples rédigés en français, on révisera la grammaire élémentaire et le vocabulaire de base, on apprendra la grammaire intermédiaire et on développera ses compétences en lecture. On analysera les points difficiles, tels que les symboles phonétiques, les voyelles nasales et les liaisons etc., certaines difficultés grammaticales, tels que les articles partitifs, les genres grammaticaux, les pronoms neutres, les différences entre le passé composé et l'imparfait. On comparera le français avec l'anglais et le japonais. On apprendra également comment utiliser les divers dictionnaires de français etc.

5. 学修の到達目標：・フランス語の雑誌やガイドブックが読めるようになる。

・フランス語の中級文法がわかるようになる。

・仏々辞典、仏英辞典、文法事典の使い方をマスターする。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : * On s'entraînera à lire des magazines et des guides français.

* On développera ses connaissances en grammaire intermédiaire du français.

* On maîtrisera l'utilisation des dictionnaires du français, des dictionnaires franco-anglais et des dictionnaires de grammaire.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 辞典、文法事典、参考書の紹介
3. 雑誌記事・日本紹介（1）
4. 雑誌記事・日本紹介（2）
5. 雑誌記事・日本紹介（3）
6. 雑誌記事・時事問題（1）
7. 雑誌記事・時事問題（2）
8. 雑誌記事・時事問題（3）
9. ガイドブック・大学案内（1）
10. ガイドブック・大学案内（2）
11. ガイドブック・大学案内（3）
12. ガイドブック・旅行案内（1）
13. ガイドブック・旅行案内（2）
14. ガイドブック・旅行案内（3）
15. まとめと筆記試験

8. 成績評価方法：

平常点 50%. 筆記試験 50%

9. 教科書および参考書：

プリント使用。参考書については、教室で現物をお見せして、適宜推薦します。

10. 授業時間外学習：教室で適宜テーマを与えますので、関連資料を調査し、各自考えていただきます

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

科目名：フランス文学各論 I / French Literature (Special Lecture) I

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB54202, 科目ナンバリング：LHM-LIT312J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス文学批評史（1）
2. Course Title (授業題目)：History of French criticism (1)
3. 授業の目的と概要：19 世紀以降のフランスの文学批評の歴史を振り返ります。文学批評は時代の政治・経済・文化の動きと密接な関係を保っています。この授業では、アントワーヌ・コンパニョンの『ベルナール・ファイの場合——コレージュ・ド・フランスから市民権剥奪まで——』（2009）を主要参考文献として、戦間期および占領期の文学批評の流れをたどってみます。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding of the history of French criticism having a close relation to politics, economy, and culture.
5. 学修の到達目標：フランスの文学批評について具体的な見通しを持つことができるようになる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a concrete perspective on the history of French criticism.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
第 1 回 導入：アントワーヌ・コンパニョンの仕事について——埋もれた文学者を再評価する歴史実証主義的研究（ランソン、ブリュヌチエール、ファイを中心に）—— [49 頁まで PDF 配付]
第 2 回 序文 [原書 7 頁～12 頁]
第 3 回 第 1 章 アメリカにおけるブルースト（1） [13 頁～17 頁]
第 4 回 第 1 章 アメリカにおけるブルースト（2） [17 頁～21 頁]
第 5 回 第 1 章 アメリカにおけるブルースト（3） [21 頁～25 頁]
第 6 回 第 1 章 アメリカにおけるブルースト（4） [25 頁～29 頁、第 1 章終了]
第 7 回 第 1 章のまとめと補足
第 8 回 第 2 章 ある現代的な若者（1） [30 頁～34 頁]
第 9 回 第 2 章 ある現代的な若者（2） [34 頁～38 頁]
第 10 回 第 2 章 ある現代的な若者（3） [38 頁～42 頁]
第 11 回 第 2 章 ある現代的な若者（4） [42 頁～46 頁]
第 12 回 第 2 章 ある現代的な若者（5） [46 頁～49 頁、第 2 章終了]
第 13 回 第 2 章のまとめと補足 [91 頁まで PDF 配付]
第 14 回 全体のまとめと補足（1）
第 15 回 全体のまとめと補足（2）
8. 成績評価方法：
予習をしたうえでの授業への参加状況 60%+レポート 40%（テキストの内容と関係のあるテーマを設定して 2000 字程度で論述せよ）。
9. 教科書および参考書：
プリントを配付します。解説の対象は以下の書物です。Antoine Compagnon, *Le cas Bernard Faÿ — du Collège de France à l'indignité nationale—*, Gallimard, 2009.
10. 授業時間外学習：テキストの部分訳を担当していただく場合がありますので、その際にご準備ください。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス文学各論Ⅱ／ French Literature (Special Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB64203, 科目ナンバリング：LHM-LIT313J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス文学批評史（2）

2. Course Title (授業題目)：History of French criticism (2)

3. 授業の目的と概要：19 世紀以降のフランスの文学批評の歴史を振り返ります。文学批評は時代の政治・経済・文化の動きと密接な関係を保っています。この授業では、アントワヌ・コンパニョンの『ベルナル・ファイの場合——コレージュ・ド・フランスから市民権剥奪まで——』（2009）を主要参考文献として、戦間期および占領期の文学批評の流れをたどってみます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding of the history of French criticism having a close relation to politics, economy, and culture.

5. 学修の到達目標：フランスの文学批評について具体的な見通しを持つことができるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a concrete perspective on the history of French criticism.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)

第1回 導入（前期の復習）

第2回 第3章 コレージュ・ド・フランスに選ばれ、そして追放される（1）[50 頁～54 頁]

第3回 第3章 コレージュ・ド・フランスに選ばれ、そして追放される（2）[54 頁～58 頁]

第4回 第3章 コレージュ・ド・フランスに選ばれ、そして追放される（3）[58 頁～62 頁] 第5回 第3章 コレージュ・ド・フランスに選ばれ、そして追放される（4）[62 頁～66 頁]

第6回 第3章 コレージュ・ド・フランスに選ばれ、そして追放される（5）[66 頁～69 頁、第3章終了]

第7回 第3章のまとめと補足

第8回 第4章 ガートルード・スタインのフランスの最良の友人（1）[70 頁～74 頁]

第9回 第4章 ガートルード・スタインのフランスの最良の友人（2）[74 頁～78 頁]

第10回 第4章 ガートルード・スタインのフランスの最良の友人（3）[78 頁～82 頁]

第11回 第4章 ガートルード・スタインのフランスの最良の友人（4）[82 頁～86 頁]

第12回 第4章 ガートルード・スタインのフランスの最良の友人（5）[86 頁～91 頁、第4章終了]

第13回 第4章のまとめと補足

第14回 全体のまとめと補足（1）

第15回 全体のまとめと補足（2）

8. 成績評価方法：

予習をしたうえでの授業への参加状況 60%+レポート 40%（テキストの内容と関係のあるテーマを設定して 2000 字程度で論述せよ）。

9. 教科書および参考書：

プリントを配付します。解説の対象は以下の書物です。Antoine Compagnon, Le cas Bernard Faÿ —du Collège de France à l'indignité nationale—, Gallimard, 2009.

10. 授業時間外学習：テキストの部分訳を担当していただく場合がありますので、その際にご準備ください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：フランス文学各論Ⅲ／ French Literature (Special Lecture)Ⅲ

曜日・講時：通年集中 その他 連講

Semester：集中 単位数：2

担当教員：竹内 修一

コード：LB98805, 科目ナンバリング：LHM-LIT314J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：モニュメントと文学（者）の記憶

2. Course Title (授業題目)：Monument and French literature

3. 授業の目的と概要：パリの文教地区である第五区に、パンテオンと呼ばれるモニュメントがある。そもそもは教会として建立されたこの巨大な建造物は、フランス革命が起こると世俗化されて「偉人 grand homme」を埋葬する場所となった。本講義ではパンテオンに眠る文学者たちに注目し、どのような意味に於いて共和国は彼等を「偉人」であると認定してきたのか考察してみたい。『社会契約論』の著者ルソーを選んだ革命政府から、ドレフェス事件の「知識人」ゾラを選んだ第三共和制政府を経て、黒人の血を引くデュマを選んだシラク大統領に至るまで、あるいは植

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The purpose of this course is to focus on the literary figures in the Panthéon and to understand in what sense the Republic has recognized them as "great men".

5. 学修の到達目標：1. 文学と国民国家の関係を理解する。

2. フランス語の読解能力を高める。

3. 関心をもった主題について、正当な秩序に基づいて論じる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. To understand the relationship between literature and the nation-state.

2. To improve the reading ability of French texts.

3. To write a dissertation on a subject you are interested in.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 パンテオン概観

第2回 パンテオンの歴史：「作られた伝統」

第3回 パンテオンと国民文学史の確立

第4回 ヴォルテール（1791）とルソー（1794）：革命とフィロゾーフ

第5回 ユゴー（1885）とゾラ（1908）：共和国の統合と分裂

第6回 ゾラをめぐる論争

第7回 マルロー1：ジャン・ムーランのパンテオンへの移葬（1964）

第8回 マルロー2：ディスクールの生成

第9回 マルロー3：マルローのパンテオンへの移葬（1996）

第10回 デュマ：黒人奴隷の子孫のパンテオン葬（2002）

第11回 パンテオンとホロコーストの記憶

第12回 カミュ1：アフリカ出身のヨーロッパの作家

第13回 カミュ2：パンテオンとアルジェリアの記憶

第14回 カミュをめぐる論争

第15回 まとめ

8. 成績評価方法：

授業への参加（50%）、学期末レポート（50%）

9. 教科書および参考書：

【教科書】

パワーポイントを使用して授業を行い、スライドのコピーを配布する。

【参考書】

長井伸仁『歴史がつくった偉人たち——近代フランスとパンテオン』、山川出版社、2007年。

モナ・オズーフ「パンテオン」（ピエール・ノラ編、谷川稔監訳、『記憶の場——フランス国民意識の文化=社会史〈第2巻〉統合』、岩波書店、2003年所収）。

アントワヌ・コンパニオン、今井勉訳、『文学史の誕生——ギュスターヴ・ランソンと文学の第三共和政』、水声社、2020年。

アンリ・ルソー、剣持久木ほか訳『過去と

10. 授業時間外学習：ひとつでもよいので、パンテオンに眠る作家の作品を読んでおくことが望ましい。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：フランス文学演習 I / French Literature (Seminar) I

曜日・講時：前期 木曜日 4 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LB54401, 科目ナンバリング：LHM-LIT331J, 使用言語：英語以外の外国語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Lire, comprendre, interpréter
2. Course Title (授業題目)：Lire, comprendre, interpréter
3. 授業の目的と概要：Parmi les activités :
 - analyses méthodiques de textes littéraires
 - exercices d'expression écrite
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Parmi les activités :
 - analyses méthodiques de textes littéraires
 - exercices d'expression écrite
5. 学修の到達目標：Les buts du cours sont les suivants :
 - initier à l'analyse des textes littéraires
 - développer les compétences de lecture et de compréhension
 - développer les capacités d'expression
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Les buts du cours sont les suivants :
 - initier à l'analyse des textes littéraires
 - développer les compétences de lecture et de compréhension
 - développer les capacités d'expression
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1) Introduction
 - 2) Lecture méthodique
 - 3) Lecture méthodique
 - 4) Lecture méthodique
 - 5) Lecture méthodique
 - 6) Lecture méthodique
 - 7) Lecture méthodique
 - 8) Lecture méthodique
 - 9) Lecture méthodique
 - 10) Lecture méthodique
 - 11) Lecture méthodique
 - 12) Lecture méthodique
 - 13) Lecture méthodique
 - 14) Lecture méthodique
 - 15) Lecture méthodique
 - 16) Synthèse du cours
8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu. Il comptera pour 60% dans l'évaluation générale. A la fin du semestre, l'évaluation prendra la forme d'un questionnaire sur un texte littéraire (40%).
9. 教科書および参考書：

Les textes seront fournis aux étudiants.
10. 授業時間外学習：Il faudra faire des lectures préparatoires et rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス文学演習Ⅱ／ French Literature (Seminar)II

曜日・講時：後期 木曜日 4講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LB64402, 科目ナンバリング：LHM-LIT332J, 使用言語：英語以外の外国語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Lire, comprendre, interpréter
2. Course Title (授業題目)：Lire, comprendre, interpréter
3. 授業の目的と概要：Parmi les activités :
 - analyses méthodiques de textes littéraires
 - exercices d'expression écrite
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Parmi les activités :
 - analyses méthodiques de textes littéraires
 - exercices d'expression écrite
5. 学修の到達目標：Les buts du cours sont les suivants :
 - initier à l'analyse des textes littéraires
 - développer les compétences de lecture et de compréhension
 - développer les capacités d'expression
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Les buts du cours sont les suivants :
 - initier à l'analyse des textes littéraires
 - développer les compétences de lecture et de compréhension
 - développer les capacités d'expression
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1) Introduction
 - 2) Lecture méthodique
 - 3) Lecture méthodique
 - 4) Lecture méthodique
 - 5) Lecture méthodique
 - 6) Lecture méthodique
 - 7) Lecture méthodique
 - 8) Lecture méthodique
 - 9) Lecture méthodique
 - 10) Lecture méthodique
 - 11) Lecture méthodique
 - 12) Lecture méthodique
 - 13) Lecture méthodique
 - 14) Lecture méthodique
 - 15) Lecture méthodique
 - 16) Synthèse du cours
8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu. Il comptera pour 60% dans l'évaluation générale. A la fin du semestre, l'évaluation prendra la forme d'un questionnaire sur un texte littéraire (40%).
9. 教科書および参考書：

Les textes seront fournis aux étudiants.
10. 授業時間外学習：Il faudra faire des lectures préparatoires et rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
 - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
 - 《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス文学演習Ⅲ／ French Literature (Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 火曜日 1 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB52102, 科目ナンバリング：LHM-LIT333F, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語の歴史と諸相（1）
2. Course Title (授業題目)：The history of French language and the francophonie (1)
3. 授業の目的と概要：フランス語の歴史をその起源から学び、また現代世界におけるその広がりについて学びます。指定された教科書 (Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002) を基に、フランス語の起源から今日におけるまでの歴史を概観します。同時に仏文解釈の練習も行います。前期・後期を別々に受講することも可能ですが、両方を受講することで理解がより深まります。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：We learn about the history of the French language from its origin to nowadays. We will also excise French-Japanese translation.
5. 学修の到達目標：フランス語の起源と歴史、現代におけるその諸相についての基礎知識を習得する。また仏文解釈のスキルを向上させる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner acquires basic knowledge about the history of the French language. Also, he/she will have a better proficiency in French-Japanese translation.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
(以下に対象とする教科書のページ数を記します。実際には変更がありえます。)
第一回 pp. 11-25.
第二回 pp. 27-37.
第三回 pp. 37-47.
第四回 pp. 47-58.
第五回 pp. 59-70.
第六回 pp. 71-80.
第七回 pp. 80-90.
第八回 pp. 90-99.
第九回 pp. 99-108.
第十回 pp. 109-118.
第十一回 pp. 119-131.
第十二回 pp. 131-138.
第十三回 pp. 138-147.
第十四回 まとめ (1)
第十五回 まとめ (2)
8. 成績評価方法：
出席点 100% (毎週の仏文和訳)
9. 教科書および参考書：
Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002.
10. 授業時間外学習：指定箇所の仏文和訳が必要になります。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス文学演習IV／ French Literature (Seminar)IV

曜日・講時：後期 火曜日 1 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB62101, 科目ナンバリング：LHM-LIT334F, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語の歴史と諸相（2）
 2. Course Title (授業題目)：The history of French language and the francophonie (2)
 3. 授業の目的と概要：フランス語の歴史をその起源から学び、また現代世界におけるその広がりについて学びます。指定された教科書 (Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002) を基に、フランス語の起源から今日におけるまでの歴史を概観します。同時に仏文解釈の練習も行います。前期・後期を別々に受講することも可能ですが、両方を受講することで理解がより深まります。
 4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：We learn about the history of the French language from its origin to nowadays. We will also excise French-Japanese translation.
 5. 学修の到達目標：フランス語の起源と歴史、現代におけるその諸相についての基礎知識を習得する。また仏文解釈のスキルを向上させる。
 6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner acquires basic knowledge about the history of the French language. Also, he/she will have a better proficiency in French-Japanese translation.
 7. 授業の内容・方法と進度予定：
(以下に対象とする教科書のページ数を記します。実際には変更がありえます。)
- 第一回 ガイダンスおよび前期の総まとめ
第二回 pp. 148-159.
第三回 pp. 159-167.
第四回 pp. 167-176.
第五回 pp. 176-186.
第六回 pp. 186-196.
第七回 pp. 196-206.
第八回 pp. 207-218.
第九回 pp. 219-229.
第十回 pp. 229-238.
第十一回 pp. 239-249.
第十二回 pp. 250-259.
第十三回 pp. 259-271.
第十四回 pp. 271-280.
第十五回 pp. 281-286.
8. 成績評価方法：
平常点 100% (毎週の仏文和訳)
 9. 教科書および参考書：
Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002.
 10. 授業時間外学習：指定箇所の仏文和訳が必要になります。
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし

科目名：フランス語学演習 I / French Linguistics (Seminar) I

曜日・講時：前期 火曜日 5 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：阿部 宏

コード：LB52505, 科目ナンバリング：LHM-LIT335J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語意味論 I
2. Course Title (授業題目) : Sémantique française I
3. 授業の目的と概要：・フランス文学作品等のテキストを題材に，フランス語の言語的現象を分析し，同時に文化論・文学論・歴史学的な考察を行います。
 - ・フランス語の諸現象について，文法化，認知意味論，主観性などの観点から解説します。
 - ・実例に基づいた言語研究，およびフランス語・英語・日本語間の対照研究の方法論について考察します。
 - ・仏々辞典，仏英辞典，文法事典，類義語辞典などの有効な活用法についても，具体的に説明します。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : * On analysera les phénomènes linguistiques du français dans des œuvres littéraires etc., tout en rendant compte d' aspects culturels, littéraires et historiques.
* On expliquera des phénomènes du français du point de vue de la grammaticalisation, de la sémantique cognitive et de la subjectivité.
* On mènera des recherches linguistiques fondées sur des exemples authentiques et des recherches contrastives entre français, anglais et japonais.
* On expliquera comment utiliser efficacement des dictionnaires de français, des dictionnaires franco-anglais, des dictionnaires de grammaire, des thésaurus, etc.
5. 学修の到達目標：・フランス語の読解力が高まる。
 - ・フランス語の語彙と文法の仕組みがわかるようになる。
 - ・語学研究の自分なりのテーマを見つけられる。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : * On améliorera les compétences en lecture en français.
* On développera les connaissances lexicales et grammaticales.
* On s' initiera à la recherche linguistique.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. ガイダンス
 2. 仏々辞典等の使用法
 3. 文法事典等の使用法
 4. 意味論概説 (1)
 5. 意味論概説 (2)
 6. 意味論概説 (3)
 7. テキスト読解 (1)
 8. テキスト読解 (2)
 9. テキスト読解 (3)
 10. テキスト読解 (4)
 11. テキスト読解 (5)
 12. テキスト読解 (6)
 13. テキスト読解 (7)
 14. テキスト読解 (8)
 15. まとめと筆記試験
8. 成績評価方法：

平常点 50%, 筆記試験 50%
9. 教科書および参考書：

参考書：阿部宏 (2015) 『言葉に心の声を聞く』 東北大学出版会。
10. 授業時間外学習：教室で適宜テーマを与えますので，関連資料を調査し，各自考えていただきます
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
 - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
 - 《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス語学演習Ⅱ／ French Linguistics (Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 火曜日 5 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：阿部 宏

コード：LB62504, 科目ナンバリング：LHM-LIT336J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語意味論 II
2. Course Title (授業題目) : Sémantique française II
3. 授業の目的と概要：・フランス語の語彙、文法、歴史を扱った論文を読みながら、文法構造、歴史、語彙など、フランス語の特徴について総合的に解説し、考察します。また、適宜、英語、日本語などとの対照的考察を行います。
 - ・語学研究の方法論を解説するとともに、フランス語と日本語の類似点と相違点について考察します。
 - ・LEXIS などの仏々辞典、『朝倉・新フランス文法事典』、Le Bon Usage, Dupré などの文法事典、Robert-Collins などの仏英辞典、Bénac などの類義語辞典、Le Robert histo
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : * En lisant des articles sur le vocabulaire, la grammaire et l'histoire du français, on expliquera des caractéristiques du français, on étudiera des structures grammaticales, l'histoire de la langue et le lexique . On mènera des études contrastives avec l'anglais et le japonais.
 - * On expliquera la méthodologie de la recherche linguistique, les similitudes et les différences entre le français et le japonais.
 - * On expliquera comment utiliser efficacement des dictionnaires, tels que LEXIS, DFC, Asakura, Le Bon Usage, Dupré, Robert-Collins, Bénac, Robert historique etc.
5. 学修の到達目標：・フランス語の読解力が高まる。
 - ・フランス語、英語、日本語などの言葉の違いを超えた共通性に気づく。
 - ・語学研究の自分なりのテーマを見つけられる。
6. Learning Goals(学修の到達目標) : * On améliorera les compétences en lecture en français.
 - * On rendra compte de points communs qui transcendent les différences linguistiques, entre le français, l'anglais et le japonais.
 - * On s'initiera à la recherche linguistique.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - オンライン授業（主としてリアルタイム型遠隔授業）
 1. ガイダンス
 2. 意味論関連文献読解（1）
 3. 意味論関連文献読解（2）
 4. 意味論関連文献読解（3）
 5. 意味論関連文献読解（4）
 6. 意味論関連文献読解（5）
 7. 主観性関連文献読解（1）
 8. 主観性関連文献読解（2）
 9. 主観性関連文献読解（3）
 10. 主観性関連文献読解（4）
 11. 語用論関連文献読解（1）
 12. 語用論関連文献読解（2）
 13. 語用論関連文献読解（3）
 14. 語用論関連文献読解（4）
 15. まとめと筆記試験
8. 成績評価方法：
 - 筆記試験 50% + 出席 50%
9. 教科書および参考書：
 - プリント使用。
 - 参考書：阿部宏（2015）『言葉に心の声を聞く』東北大学出版会。
10. 授業時間外学習：教室で適宜テーマを与えますので、関連資料を調査し、各自考えていただきます
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
 - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business
 - 《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし